



☆地域おこし協力隊ニュース☆

2014年10月号☆今月も隊員の活動をお届けします！！（発行：橋田様子）



【吉成園】 6/23

収穫祭が終わって、最初にお邪魔したお茶屋さんです。銘茶＜花の里＞は県茶品評会において農林水産大臣賞を通算10回受賞、専務取締役・弘樹さんのことか!? “貴公子”なんていうものもあります。日本茶インストラクターの資格をお持ちで“煎茶楽塾”を開講、茶の効能や淹れ方を教えて頂けます。お茶の旨味・テアニンの体験には驚愕しました！皆さんも普段と違う煎茶の魅力を感じてみませんか？（投稿：ましこ）

吉成園 本社茶園：久慈郡大子町左貫 855

水戸店：水戸市柳町 1-3-3

【味研さんと調理実習♥丘の上のマルシェ】 9/20

都会の大学生は何かというと、コンビニ弁当。可哀想なので、大子のとびきり美味しい郷土料理を味研さんから習う調理実習を企画しました。味研の皆さんのお庭で採れたての野菜の素揚げ、コロッケ、シソの葉餅、味噌の紫蘇巻揚げなどなど、美味しいものばかり、それも自分達で作るので、できた時には大感激でした！また、明星大学の合宿所に電子レンジを寄付していただきました。益子会長はじめ、味研の皆様、本当にありがとうございました。明星大学の山岸君、永濱君、吉田さんが丘の上のマルシェスタッフにボランティアで参加しました。前日準備では誘導立札の設置、当日は雨のなか朝7時半からテント設営と大変でした。駐車場の誘導や、配布パンフレットの封入作業、出展者のお手伝いなどでんてこ舞いでした。午後はまぶしく晴れて気温も上がり、お店を回って素敵な作品を購入したりとっても楽しい一日でした。出展者とマルシェスタッフの皆様、お世話になりました！また、来年もボランティアさせていただきます！（投稿：はしだ）



【協力隊員インタビュー特集 vol.53 茨城県大子町】 9/24

大子町地域おこし協力隊長谷川の活動が、JOIN（移住交流機構）が管理する「地域おこし協力隊ホームページ」に特集として掲載されました！！当該ホームページは、総務省からの委託であり、地域おこし協力隊を目指す方、自治体関係者は必ずアクセスします。今後、大子町の取組が全国に発信されることが期待されます。（投稿：はせがわ）



特集Vol.53 茨城県 大子町

「地域スポーツ」が広げる新たな可能性



【大子町のりんご園さん】 8/21

37,1℃を記録した昨日と、少し暑さがましになった今日。浅川にある「仲野忠雄りんご園」さんにお邪魔しました。人懐っこい猫ちゃんがお出迎えしてくれました。夜になると目をひく黄色灯、あれを使わずにこちらではペットボトルにりんごジャムとシロップを入れて木に吊るしているそうです。実にいたずらする虫たちを甘い香りですりりんごの実よりペットボトルに誘う訳ですね。古いペットボトルを洗ったり切ったりジャムを入れたり紐をかけたり吊るしたり…150本くらいだったのでしょうか。ちょくちょくお手伝いに来てくださる園主のご友人たちとワイワイ作業を進めました。もとはコンニャク畑や酪農をしていたところに、54年前10本のりんごから始め少しずつ増やしていったそうです。今は100本30a.10種類を大切に育てていらっしやいます。「作るのは出来るが売ることが出来ず苦労したこともある」と語る御歳70才のご主人。痛む首や膝を擦りながらも「あと5年は頑張りたい！」との意気込みも。少しずつ色付いて来たりんご達が応援してくれてるみたいに見えた1日でした。(投稿：はりう)

【道普請】 8/5

上野宮地区では昔から夏になると「道普請(みちぶしん)」という行事が行われます。これは集落内の道路、河川を共同で清掃することでコミュニケーションを深めるのが目的とされています。この日、私も参加して来春に咲く球根を土に埋める作業を手伝いました。(投稿：よしはら)



※この記事の内容は、地域おこし協力隊のFacebookに掲載されたものを元に作成しています。